発行№１３４号 無限の可能性を追求する青春金物店 日本一金物 発行月日 平成２０年1月２０日

2008年 まいどうさん No.134

NIHONICHI TOPIx 日本一金物 会報 2月号

極寒のみぎりお見舞い申し上げます。

「こんなことも知らないのか」人から言われて、大変ショックを受けることがあります。しかし、始めは誰も知らないのです。知らなかったことを恥じる必要はありません。知る努力をすればいいのです。強がって知ったかぶりをすると、せっかくの機会を失ってしまいます。

人からなんと言われようと、落ち込んだりしないで、自ら積極的に、解からないことは解からないとはっきり言って教えてもらうことです。

もし教えてもらえないのなら、自分で調べてその知識を身につけることです。

自分にはまだまだ知らないことがたくさんあるのだと認識して、そのことを恥じずに、自ら積極的にあらたな知識を求めていきましょう。

知らないままで済ませてしまうこと、これこそが本当の恥なのです。

自分の無知を、自覚することから進歩は始まる。

知識向上の大きな段階である。

＊二月二十三日～二十四日は当社の大展示会です。皆様のご来場をお待ち申し上げます

（第１８回）ある日B建設の社長でYさんが店に来た。

「あにぃ～、うかねぇ顔してどうした…」「うぅ～んん、チョットぉ」「どうした、ばぁ」「ハイ、問屋さんが来るのに少し、足りなくて…」「なんぼだ」「ハイ５万くらいです」「当時の自分としては破格な金額だった。」「そんなべっこが。俺、明日持って来てやるでぇ。」「どうせ、アンちゃんや、俺も、買うからよぉ～」涙が出るほど、嬉しかった。というよりも、胸が熱くなり、涙がとめどなく流れてきた。

いろいろな面でお客さんに助けていただきました。

社長さん、親方さんも、みんな職人さんで４人５人のでした。

若い人を抱え、自分自ら、それはもう仕事に汗していた時代です。

心情厚く、想いやりがあるのが職人さんの心。

苦労して一人前になったから当然人の心を判断できる。

職人さんが神様に見えました。

「銀行を紹介してやるか？」「商売やったら、借金ぐれえしねが」「電気カンナ、溝きり置げやぁ～俺買うからよぉ～」「優しく声をかけてくれまきた。丁度その頃、道具を置き始めてから、一度も休んだことはなく、仕事に没頭していたから、出かけるなんて考えもなかったが、千代ケ岱の米穀店の高岡君（逝去）が来て、「バイクを買ったから、明日、大沼へ行こう」と誘われたのです。

「たまに、表の空気でも吸ってこんでしたが、親父が「珍しく優しく声をかけてくれた。二人で稼ぐ鋸目立ての修理代金はすべて郵便局から紹介された拓銀昭和通り支店の売り上げは、全て預金する。米穀店からの小遣い程度の給料は、私の小遣いと、商売を始めてから多少の余裕が付いてきた。大沼行きを再三断ったが、親父の進めと、バイクの後ろに乗ってみた い気持ちが揺れ動き、誘いに乗った。それが後に伴侶となる女性と行き会うが、もし断ったら、人生も大きく変わっていたろう。

大沼湖畔の食堂で、昼食を摂っていた時、二人の女性から声をかけられた。ボートに乗りたいのだが、漕げないので、一緒に乗ってくれと言うのだ。二人乗りのボートを借りて、一人ずつ女性を乗せて湖畔を回ったが、初対面の女性と向かい合った気恥ずかしさに、終始無言で話し合った記憶がない。彼女たちは列車で帰り、私は、職業も、所も話さず別れたが、高岡君は米穀店の名刺を渡したらしい。

出来事、縁は異なもの味なもの…こう書くのかな？後の次号までお待ち下さい。

Hitachi Koki POWER TOOLS for PROFESSIONAL
㈱北海道日立 函館支店
函館市西桔梗町 858-5 TEL48-6411

makita
ヒーマンハードウエアの ㈱マキタ函館営業所
北斗市七重浜 7-3-12 TEL49-9273

RYOBI
リョービ販売㈱ 札幌営業所
札幌市豊平区平岸7-14 TEL812-3751

☆☆☆ 今月の新発売のお知らせ！ ☆☆☆

例年にない、寒さが続いていますがいかがお過ごしでしょうか？。来る二月二十三日～二十四日の展示会に向けて、新製品がぞくぞく入荷中です。美原店・中島店の方へ、お立ち寄りしてみて下さい。お待ち申し上げます。

▼乗客を一喜一憂させた女子高生

高校2年生のリエさんが、ある土曜日の午後、友達二人で買い物に出かけた帰り道のことである。駅の電車を待っていた時、リエさんのポケットから切符がひらひらと線路へ落ちてしまったのだ。その途端リエさんは、「エー、ウソー、イヤダー切符落としちゃったー、どうしよう」と一人で大騒ぎ。ホームにいた乗客も、一体何事かと、一斉に注目。その後の駅員さんの対応が素晴らしかった。まだ電車の来ないのを確認するとすぐ線路に跳び降りて、リエさんが、指差す切符の元へ走ったかと思うと、機敏にそれを拾い上げ、このすばやい行動に、リエさんもパッとホームへ戻ってきた。その友達も、ほかのお客さんも、みな感心していた、そして行動を見守っている様子。駅員さんもチョット誇らしげな表情で、「はい、どうぞ」と拾った切符をリエさんに差し出した。

精一杯のありがとう・ございましたの笑顔でお辞儀しながら、切符を受け取るリエさん。見ている人たちもみんなニコニコ顔だ。ところがその差し出された切符を見て、リエさんは凍りついた。なんと、駅員さんが、決死の覚悟で拾ってくれたものは、切符でなくて、さっき買い物したデパートのレシートではないか！　それが分かった途端、駅員さんも、周りの人たちも硬直状態。早く電車が来てくれないかな、ただひたすら願い続けるリエさんだった。

金物総合卸商社
㈱キムラ函館営業所
函館市西桔梗町 589-44
TEL(0138)49-5331

新潟金物卸商社
㈱高儀 札幌営業所
札幌市白石区中央1条3丁目-3-35
TEL(011)832-0295

新潟金物卸商社
㈱ナルミヤ札幌支店
札幌市東区伏古1条3丁目-1-16
TEL(011)784-2244